

## 総務文教委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成26年 5月23日 開会 9時55分 閉会 11時23分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

西田久志 大鳴二郎 西村慎次郎 三宅文雄  
藤原浩司 宮地俊則 森下金三

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 副議長 上野安是

(2) 事務局職員

事務局長 三宅道雄 事務局次長 岡田光雄  
主任 藤井隆史

### 6. 傍聴者

(1) 議員 0名

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

### 7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 皆さんおはようございます。

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

〈所管事務調査事項について〉

**委員長（西田久志君）** 先般の委員会におきまして、各委員から所管事務調査事項を協議していただきまして、お手元にお配りしております所管事務調査事項のとおり、井原市における小・中学校の教育環境についてを調査事項とすることに決定したところでございます。

お手元で皆様確認をしてください。

そこで、本日は前回の決定を受けて、政策提言に向けたさらに具体的な調査事項の絞り込みが必要でないかと考え、皆様に協議をお願いしたいと考えております。

まず、その次にありますが、正副委員長におきまして、調査事項の具体例としてたたき台を作成しておりますので、その概要について説明させていただいた後、委員の皆様にご協議をお願いしたいと思います。

調査の目的、1、2、3は前回決めていただきましたが、その下の調査事項、具体例、これは正副委員長で案としてお示しするものでございますが、まず1番は施設整備状況の調査が必要ではないかなということで、市内13小学校区、そして5中学校でございますが、それぞれの建設年次と設備の調査でございます。

それから2番目に、いじめ問題に関する調査ということで、現場での聞き取り等が必要ではないかということでございます。

3番目は、学校における食育の調査で、食生活の環境の乱れとか考え方の調査が必要ではないかなということでございます。

また、4番目として小・中学校の再編に関する調査で、少子化により芳井の3校が休校という現状でございますが、1校は廃校ということでございますが、その地域の現状というものを調査する必要があると考えております。

また、学校運営に関する調査で、森下委員さんの提案でございましたが、コミュニティ・スクール等をいろいろ調査したらどうかということでございます。

また6番目に、ICT機器の活用に関する調査ということで、5番、6番もそうですが、後から皆さんにお知らせする行政視察の中にもありますが、5番、6番に関しては視察するわけでございます。資料としてますが、タブレットとかiPadの先進的な、それから現状等で活用されてるかどうかを調査するというところでございます。

以上6点、案として出しておるわけでございますが、委員の皆様にご協議をお願いしたいと思います。

**委員（藤原浩司君）** 非常に、ここに出てる6点というたら必要なもんだとは思いますが、幅が広過ぎて結果を出すまでに多分こぎつけないと思うんです。広く浅くいくんであればこれでいいかと思いますが、学校の環境の問題で、教育の問題の中の環境も含めた中で、何が一番今大事なかなということはこの中から、委員長、副委員長で精査された中か

ら抜粋して小さいものを深くやる、追求していったりよりよい提案をしていくべきかなと、私はそう思うんですが。

**委員（西村慎次郎君）** 多分、上の調査の目的の3つを達成するためにどんな調査が必要かということだということで整理されてるのかなというふうに理解してます。藤原委員が言われるように、絞り込みも必要なんですけど、目的達成する上で必要なものは盛り込んでおく必要はあるかなというふうに思ってます。これ以外に生活改善とかということも目的に入ってるんで、小・中学生の生活状況、多分実態調査は学校でされてるんで、その辺をアンケートというか、調査内容を入手するとかということで、生活状況の調査も必要かなというふうに思います。

ということで、7番目に追加いただければというところで。追加いただいて、目的達成するために、じゃあどこどこにポイントを絞ってというところで絞っていくのはどうかなというふうに思います。

**委員長（西田久志君）** 済みません、西村委員。調査の目的、これ3つしておるんですけど、一応全てにというのは多分難しいと思ったんですよ。だから、例えば全てを網羅するというのは多分不可能だと。要するに、今7番目を出していただきましたけれどどれかに絞る、1点に絞る。今藤原委員が言われたとおり、余り広くやると多分できないっていう可能性があるんじゃないかなと思ってこういう提案をしたわけです。

**委員（西村慎次郎君）** ということは、目的も絞ると。

**委員長（西田久志君）** いや、目的はもう決めましたので。目的はもう前回の委員会で決定しましたので、これはもうさわることはないと思っております。

**委員（藤原浩司君）** 今この1、2、3ある中で、これは目的を皆さんで決めたことなんですけど、この中をよく、じっくり冷静に見ていただくと、生活環境の改善であるとか整備、それから学力向上、生活改善ということを含弧に書いてあるんですけど健全育成です。これは、この2の中にも合致するところがあると思います。

そういう中で、例えば1番の小学校の児童、中学校の生徒、学習生活環境を改善するにはどれが一番選ぶべきかなということを考えていく中に、2の教職員の環境も必要になってくると。そういう形で、連鎖反応を起こすような形で、この調査、目的を1つにまとめていくということにすれば、結局は強いて言えば子供たちの学校、生活環境の中に行政と学校との合致するところもできてくると思うんです。ですから、一つ一つを考えていくのではなくして、1、2、3の目的の中の調べていく中で絶対につながってくることはありますんで、そうしていくことによってぐっと、なおさら絞ったええ意見が出てくるんじゃないかと、私はそう思うんです。

そういう意味もあって、先ほどもう少し精査したほうがいいんじゃないかなというような

意味合いで申しましたので、省くとかということではなくして、今委員長も言われたようにしていくべきかなというふうに思いましたので、そのそこはご理解してください。

**委員（西村慎次郎君）** 理解はするんですが、どこでターゲットを絞っていくかっていうところで、今目的は3つ挙げてる中をまとめるかどうかということはあるんですけども、3つは掲げた上で、調査もここへ挙げてる調査をしていって、絞っていくタイミングとして、じゃあそこで調査した結果、課題が多分出てきて、こういう課題が出てきますと。その中で、今回の総務文教委員会としてターゲットをこの課題に絞っていこうっていう、その課題の出た段階で絞るのか、調査の段階からもうある程度絞れるというか、ここを重点的にやろうっていうのが絞れるんならそこなんでしょうけど、個人的にはある程度広く調査をしていって、課題が何点か出てきて、総務文教委員会の中でどれを今回、どの課題を重点的にやっっていこうっていう対策を打っっていこうという、課題のときに絞り込む手もあるんじゃないかなというふうに思います。

**委員長（西田久志君）** 皆さんに、これも正副委員長で考えた案ですけど、スケジュールもこの次は考えなければいけないのではないかなという中で、ある程度、先ほど来藤原委員も言われたとおり、今回は調査事項を絞っていくべきではないか。余りにも大きく広くやり過ぎて、そのときの課題は出てくることは確かに出てくると思うんですけど、ある程度絞り込みの中から絞り込んでいって目的を見失わないようにして。それから、いろんな課題が出てくればそこでそのときには考えればいいのかということこの提案をさせてもらって、この6つを全てじゃなくどれかを絞っていけば、新しく出たことに関してもいいわけですけど、絞っっていっただほうがいいのではないかなというわけでございます。

**委員（西村慎次郎君）** スケジュールがあることなんで、多分そういうやり方じゃないと終わらんっていう理解もしますんで、はい、盛り込みながら。

それはまた、絞り込んで調査していくと、ひよっとすると別な課題が、やっぱりこっちの調査もせにゃあいけんということも出てくるかもしれないかなという気はするんですけど、そのときはそういう順番を変えても、またせにゃあいけんこともあるかもしれませんが、まずはスケジュールがありますんで、おさまるように絞っていくということでいいです。

**委員（森下金三君）** この調査目的というのは、この間決めたようにこのとおりでいくわけですが、その具体的事項でこれだけ7項目を挙げてあります。確かにどれも必要なことではあるんですが、差し当たって喫緊の課題として、とりわけこの中で取り上げていくのは何かというようなことを考えて、今先ほども意見が出ておりますように、あれもこれもというような調査はできないと思う。やっぱり1つに集中をしていくと。そのためにはこの中から一番今の時期に必要としておるものを取り上げて、それを集中的に調査をして、そして結果を出し、それを提言としてまとめていくということが必要であろうと思います。それを、今

具体的にこの中の、ある中を絞るとするならば、私の意見といたしましては、2番目にあるいじめ問題に関する調査ということをしていければいいのではないかと思います。これはもう子供の生活環境、教職員の環境、それら全てこの目的に当てはまるというふうに私は考えますので、これを一つの問題として取り上げて調査していければいいのではないかというふうに思います。

**委員（三宅文雄君）**　そうですね、私も今森下委員が言われたように、いじめの事件にもなりましたし、またその前段のこともいろいろとありましたので、当面の課題として絞っていくのはこのいじめの問題がふさわしいのではないかなというふうに思いますけど。

**委員（宮地俊則君）**　今、皆さんのお話を聞いておまして、形として一番、本当に筋を通していくのであれば、西村委員の言われたような形が私はいいんだと思います。思いますが、ただ現実には期間が限られている、何とか結論を導き出そうとするならば、目的はこの3つ決まるとるわけですし、調査事項の具体例、6つありますけども、どれも関連しております。いわゆる子供たちの学力向上、生活改善に向けてに関連したことなんですけど、それを全部調べた上で絞っていくというようになると、ちょっと時間的な無理があるのではないかなということで、焦点がぼけてしまう可能性があると思いますので、調査事項の具体例を、先ほど藤原委員が言われたようにもう少し、どれをするかというのは別としまして、絞り込んだ調査をしていく、その中で全部調べれば一番いいんですけども、それがままなりませんので、その範囲の中で結論を導き出していくという形に持っていくのがベストではないかなと思っております。

**委員長（西田久志君）**　一応案ということで、委員長、副委員長の案を出させていただきましたが、この6つプラス生活改善ということ等がありますが、7つということをしていただいで、それを絞り込むということで結構でございますでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（西田久志君）**　それでは、絞り込みをさせていただきます。

森下委員、三宅委員は、2番のいじめ問題に関する調査ということが出ましたが、藤原委員、どれに絞るかということに。

**委員（藤原浩司君）**　このいじめ問題というのは、今喫緊の課題だと思います。大変、事件が起きておりますので喫緊の課題ではありますが、このいじめ問題を調査することは、結局この3つの課題の中にきちっと集約して入ってきますので、生活環境の改善と、それから2の子供たちや保護者との向き合える時間をふやすという家庭の教育がいじめ問題をとめる、ブレーキをかけることになると思います。

そういう中では、やはり学校の教職員の先生の中では、学校でのそういったいじめの教育はもう頭打ちにきてると思います。ですから、この3つの中にいじめ問題も入りますんで、このいじめ問題をすることによって全ての、生活環境にしても学力向上にしても保護者との向き合える時間にしても、行政、学校との意思疎通ということも全部交えてきますんで、それはそれでいいかと思います。

私の中では、施設の整備状況、いじめ問題、学校運営に関する調査、この3つぐらいが1、2、3の中に入ってくるのかなと思うんです。ですから、今西村委員が言われたのをプラスして7つにはなってくるんですが、いじめが入ってきますと、今言った学校運営に関する調査と施設整備、それからいじめ問題が一番妥当なのかなというふうに私は考えられます。

**委員（宮地俊則君）** 私は、もちろん今皆さん言われているいじめ問題とかというのも、これが改善されれば生活環境が改善されるということに当然なってこようかと思いますが、その下に、やはり学力向上、生活改善というのがございます。今この6つ、先ほど西村委員も言われた7つも含めても、この学力向上というものに対する調査というのが、先ほどの私の言い方としたらちょっと矛盾するかもしれませんが、今岡山県、井原市も含めて低迷してるということで、学力向上ということも非常に重要なことであろうと思いますので、そういったものに対する調査というのも、全部関連している、そういった今の6つの項目がなれば学力がおのずと向上していくよと言われればそうかもしれませんが、端的に言いますと、この6項目の中に出てくる向上というのが、具体的な調査というか、前向きなあれがちょっと欠けてるような気がするんですが。

**委員長（西田久志君）** で、この7つを……。

**委員（宮地俊則君）** 今言うこの6つの中から絞るということに決まっているならば、私の今のは撤回することになるんですけども。学力向上、生活改善というのが大きな2本柱であろうかと思いますが、それがどこにもないのが先ほどから気になっておるところです。

**委員長（西田久志君）** どれかに絞ろうという中で……。

**委員（宮地俊則君）** 絞ろうというのは結構なんですが、この6つの中でいうと、先ほど1つありました1の施設整備、それからいじめ、それから5の学校運営ですか、これらも関連してるといやあ関連してるんですが、その中に溶け込ませていただく形ででも学力向上というものに対する調査というのが余りどこからも見えてこないような気がしますんで、どっかに溶け込ませていただいてもいいのかなと思っております。

**委員長（西田久志君）** 先ほど来、藤原委員とか西村委員も言われたと思うんです。結局どれかに絞らないと、それから1、2、3の調査の目的の中に合致するという中で、いじめ問題という意見が3件、3人の方が出たわけでございますが、やはり1つにまとめていこう

と、調査を1つにする、がしかしそれに関してその枝葉が全て分かれてくるということもあると思いますが、先ほど西村委員に言いましたとおり、1つどれかを、今6つ、それと西村委員が言われました7件目もありますが、その中でどれかということにさせていただきたいと思うんですが。

**委員（宮地俊則君）** この西村委員も言われた7つのうちから1つに絞るというて決めたんですか。決めてないと思うんじやが。絞るというのは聞いたけど、1個という……。

**委員（森下金三君）** 今どういうふうにするかということを決めようわけで、まだ1つに絞るということは決めてない。今、僕の意見としてはいじめ問題、それと1つ漏れとった学校運営調査という中にはそういういじめ問題なんかも全て僕は入ると思うんです。じゃから、そういう意味では大きな問題として、テーマとして取り上げるんなら学校運営に関する調査というふうに、1つとするならば。そういうものを入れた中にこういういじめ問題とかというものを。余り多く入れるとなかなか難しい、こんがらがる。その中で、学校運営の中には今言われた学力向上とかそういうことも含まれてくるというふうに思うけど、テーマとしては余り大きくせずに1つだけを絞ってしたほうが。せつかく委員長、副委員長に調査事項としてされとるんじやけど、その中に大きくテーマとするならば学校運営に関する調査、その中にはいろんなもんが含まれるわけですけどが、いろんな含まれる中でも具体的に絞って調査をしていくというふうにせんと。余り多くなると、そりゃ確かに難しいと思います。

ほやけえその中では、私は特に今は喫緊の課題としていじめ問題というものを取り上げて、いじめを解消することによると生徒も落ちついて勉強もでき、何もでき、それも学力向上につながってくると。家庭環境もよくなってくる、学校環境もよくなってくるというふうなことにつながるといふふうに思うんです。

そういうことで、話が前後しますけれども、テーマは余り大きくせずに絞って、その中でやっていくというふうにしたらどうかと思うんです。

**委員長（西田久志君）** それでは、先ほど具体例の中を提案しましたが、その中で施設整備状況の調査、いじめ問題に関する調査、生活環境の調査ということの3つの大きなことを主に調査していこうということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（西田久志君）** それでは、これから先この3つのことをするということになりましたが、資料というか、考えておりますこの所管事務調査の中でのスケジュールを一覧表にして、一覧というかこれから決めていかにゃあいかんと思うんですけれど、2月までに向けてということをございしますが、それぞれの中でどのようなことをするかも含めまして、調査方

法とかというのを、その前にこういう方法でスケジュールを決めていいのかなんですけど、どうでしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（西田久志君）** その中でまずそれぞれの、一番上に委員会開催がありますが、まずこの委員会が9日と19日があります。それから、9月にもあるはずですが12月もあるということでございます。その中で、何事も現状の把握が必要ではないかなということその現状を調査すると。その中では調査の方法として資料の収集と、それからアンケートなんかもあるのではないかなと思いますし、現地視察、ヒアリング、他市の視察とがあるわけでございます。

まず、その辺を考えるに当たりまして、これから最後、その他で言おうと思うんですけど、行政視察でコミュニティ・スクール等があるわけですが、7月の2、3、4で視察ができるのではないかなと思うわけですが、2、3、4があります。ということを入れていただきまして、皆様のご意見を、この表の調査方法までを、それからまた後日、次回の中で課題の整理とか改善策の検討とか提言素案の作成、ここまで行きたいわけでございますが、これはそこまで行かなくてもいいのではないかなと思うわけですが、時間があればそれを行ってもいいと思います。その中で、ちょっとお考えをお聞かせ願いたいと思います。

先ほど、最後から検討したらという意見が出ましたが、皆さんどうでしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（西田久志君）** それでは、その中で1カ月は上旬、中旬、下旬というふうなものもありますし、日にちをきちっとというのもあるんですが、スケジュールといたしまして上、中、下という形でいいでしょうか。上旬、中旬、下旬で。

**委員（宮地俊則君）** 近々のあたりはそれでええかと思いますが、まず一応は、最終的には提言書の完成といったら当然年度末に近いところになるろうかと思うんで、そこら辺からアウトに入れていったらどうでしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（西田久志君）** それでは、一番下から提言書の完成。

**委員（藤原浩司君）** 2月には提出でしょ。



委員長（西田久志君） 2月の上旬、中旬、下旬がなくても2月。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 素案の作成。

委員（宮地俊則君） 1月かな。

委員長（西田久志君） 1月。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 改善策の検討。

委員（西村慎次郎君） 3カ月。

多分検討を何回かしないといけないと思うんで、10から12とかという、12月のときには検討を終わってるという状況です。10月ぐらいからは検討できるようですから10、11、12ぐらいで、3カ月間で検討いただければ。

委員長（西田久志君） 10、11、12。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 課題の整理。

委員（西村慎次郎君） 9月かな。

委員長（西田久志君） 9月という意見が出ておりますが。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） それでは、調査方法。

委員（森下金三君） そしたら、わかっとる分は7月のこれへ行くわけじゃけえ。

委員長（西田久志君） 2、3、4。

委員（藤原浩司君） 他市の視察はもう7月にある。

委員（森下金三君） あとはもう6、7、8。

委員長（西田久志君） 資料の収集と現地視察、ヒアリング等が6、7、8という意見が出ました。

〈異議なし〉

委員（宮地俊則君） この現状把握というのと、それは今言うとするそのものの内容とそれでいいと思うんじやが、現状把握というのは、これはどう捉えるんですか。調査しつつ現状把握していくということで。

委員長（西田久志君） 大きく現状把握として、収集とか現地視察とかヒアリング。

委員（宮地俊則君） 現場も含めて6、7、8と。

委員長（西田久志君） 現地視察ね。

委員（宮地俊則君） いやいや、現地視察じゃなくて。

委員長（西田久志君） 現状把握、わかりました。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） それでは、スケジュールは決まりましたが、次の……。

委員（森下金三君） 恐らく次の日にちをいつにしようかという日程とか言われたんじやね。

委員長（西田久志君） も含めて、きょうのは……。

委員（森下金三君） だから、もうそりゃあ我々が、日にちがどうのこうのというて言いませんので、委員長、副委員長で決定してもろうた日にちを合わせていくと。そういうこと、言おうとしたん。

委員長（西田久志君） というより、次に進みますかということなんですが。

委員（森下金三君） ちょっと僕は早とちりした。

委員長（西田久志君） ごめんなさい。

委員（森下金三君） ごめんごめん、それ訂正。

委員（藤原浩司君） 進んでください。

委員長（西田久志君） 次の委員会が、検討というよりはもう6月9日になろうかと思えます。それまでに資料を収集するというので、委員長、副委員長に任せていただいて結構でしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 次回の委員会を6月9日にいたします。

委員（宮地俊則君） 9日の委員会というのは開会日の委員会でしょ。じゃから、次回と

いか本会議があつて全協があつて、その後各種、分かりますよね。そのことですよね。そのときにやりましょうという。

委員長（西田久志君） そのときに資料を検討するというところでございます。

委員（宮地俊則君） 了解です。

委員（藤原浩司君） 執行部も忙しかろうから、議会始まるんで。最悪、もしそれが間に合わんということになるんであれば我々の委員会のときに、要は本会議中の委員会のときに間に合わせてもらえりゃあええかなと思いますので。

委員長（西田久志君） それでは、その決定につきましては委員長、副委員長で。

委員（藤原浩司君） お任せします。

委員長（西田久志君） では、よろしく申し上げます。

委員（三宅文雄君） 現地視察が6月と7月しか、もう8月は夏休みになると思うんですよ、子供たちの。だから、そこら辺の日程も合わせて6月のいつごろ、7月の初めとか、その辺もちょっと打診されたらいかがでしょうか。

委員長（西田久志君） わかりました。

〈議会への提案について〉

〈回答案について協議〉

〈決定〉

〈その他〉

委員長（西田久志君） 委員会の行政視察の行き先、調査項目につきましてご報告申し上げます。

現在の状況は、お手元にお配りしております一覧表のとおりでございます。

議会事務局次長（岡田光雄君） 一覧表で2日から4日の日程を書いておりますが、2日の水曜日が15時から16時半にかけて視察先が佐賀県武雄市、視察内容が官民一体型学校についてと小・中学校でのICT機器の活用についてということで申し込みを済ませたところ、承諾をいただいております。

それから、その下には若干説明、それぞれの官民一体型学校とICT機器の活用についての説明を入れております。

それから、3日の木曜日でございますが、13時から14時30分にかけて、熊本県の玉名市に視察を申し込みまして、内容は公共施設マネジメントについてということで、ち

よっと聞きなれない言葉だとは思いますが、その下へ書いております説明のように、学校図書館、公民館等の公共施設について、施設の老朽化及び少子・高齢化や生産年齢人口の減少とそれに伴う税収等の減、住民ニーズの変化に鑑み、総合的な視点から公共施設の有効活用や統廃合及び長寿命化、適切な改修や維持管理など公共施設の効果的かつ効率的な企画、管理、運営を行うというようなことで、所管事務の調査のときに最初一部出てきたことと絡むということで、玉名市のほうへ申し込みをしまして承諾をいただいたところです。

最後の4日の金曜日なんですが、10時から11時半にかけて熊本県宇土市に、コミュニティ・スクールについてということで問い合わせをとりんですが、そこには5月22日TEL問い合わせ中と書いてあるんですが、けさ朝一で電話が入りまして、ちょうどこの日が、担当課のほうに差し支えるという回答をいただきましたので、急遽ほかを当たるか、検討せにゃあいけんような状況になっております。

コミュニティ・スクールについてはそこへ書いてあるような内容で、以前森下議員さんから提案を受けました福岡県の春日市が最初視察先に、候補に挙がったんですけど、いろいろ経緯がありまして、その後もう一カ所、ほかなコミュニティ・スクールのところも当たったんですが、そこが日程がとれずに今3つ目が、これももう一回検討させていただきたいと思います。

**委員長（西田久志君）** 前後するかもしれないということよね、2日目と3日目が。

**議会事務局次長（岡田光雄君）** 何とも言えないところです。

**委員長（西田久志君）** 以上でございますので、この件につきましても決定次第また報告させていただきます。

〈異議なし〉

〈なし〉

〈議長あいさつ〉

**委員長（西田久志君）** 以上で総務文教委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

議会への提案について

回収場所	記入日	内 容
市役所 1階	4月13日	<p>本日、全日本選手権大会県予選会が行われる為、井原体育館へ観戦に行きました。そこで大変危険でヒヤッとした場面に遭遇しました。2階フロアーに設置してある椅子の座る所のクッションが老朽化の為か、外れます。小さい子供達はそのクッション部分を積み上げその上に座って遊んでいました。もしバランスを崩して落ちたなら少々のがでは済まないかもしれません。危ないと思い注意しましたが、もし、事故になれば、管理者の井原市の責任が問われるのではないのでしょうか。また、1階、2階のソファの黒い表面が破れ、ベージュのガムテープで補修されています。表面だけでも張り替える予算が無いのでしょうか。納税者としてここまで市の財政が無いのかと恥しい思いです。全国大会、県大会、予選会、地区大会と、多くの競技で県内外から選手、ギャラリーを迎える側として大変恥しく思います。ぜひ、皆さんで一度行って見て下さい。ガムテープをベタベタと張っているソファを見て皆さんはどのように感じられますか、ぜひ検討してください。</p>

回答(案)

この度は井原市議会へご提案をいただきありがとうございます。

〇〇様からいただきました提案につきまして、井原市議会から回答させていただきます。ご提案をいただき議会としましても現地を確認し担当課へ伝えましたところ、「井原体育館の1階、2階のソファにつきまして、クッション自体が外れる構造のソファもあることから、そのようなソファにつきましては子供たちの安全を勘案し、順次交換等してまいります」との回答をいただいておりますが、議会としても子供たちの安全を考慮して最大限配慮するよう要望しておりますのでご理解を賜りたいと思います。